

科目番号	52022	分類	共通科目	履修者	高度実公衆衛生看護コース	学年			
科目名	地域母子保健学特論 (Theory of Maternal and Child Health in the Community)						1		
							配当セスター		
							後期		
担当者	○渡邊香 他 4 名			区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>【概要】 変化する社会における地域母子保健の今日的課題について理解し、地域母子保健の意義について理解する。また、地域母子保健の政策・事業を概観し、その活動状況や課題を調査・分析し、その評価や対策について考え学ぶ。</p> <p>【目標】 1. 地域母子保健の意義について説明できる。 2. 地域母子保健に関わる政策および事業について説明できる。 3. 変容する社会における母子保健の課題について説明できる。 4. 課題解決のための計画立案・対策を検討するのに必要な理論や方法を説明できる。 5. 地域母子保健活動における助産師の役割について説明できる。</p>						○	1.多様な課題に対応する高度な実践力		
							2.地域住民の自立を支える統合的支援能力		
							3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力		
							4.政策や保健事業を開発する能力		
							5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力		
							6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力		
授 業 計 画									
回	内 容						担当教員		
第1回	科目のガイダンス 地域母子保健学の概要						渡邊 他 4 名		
第2回	地域母子保健の現状と課題①								
第3回	地域母子保健の現状と課題②								
第4回	地域診断と母子保健								
第5回	わが国のおもな母子保健制度								
第6回	地域母子保健活動の実際①								
第7回	地域母子保健活動の実際②（ハイリスク）								
第8回	総合講義、母子保健の今日的課題と助産師・保健師の役割								
事前・事後学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。事前事後学習には30～60分程度で出来る課題を課すレポートを課す「母子保健の今日的課題と助産師・保健師の役割」。								
評価の方法	レポート（70%）、授業・討論への参加状況（30%）にて総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書 ・資料等	◎助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 我部山キヨ子他 第6版 医学書院 ・母子保健の主なる統計 令和6年度版 ・助産師のための産後ケアガイド 2023 日本助産師会出版 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								